

☆看護師に過重な負担 鳥取養護学校

読売新聞 2015年08月22日

<http://www.yomiuri.co.jp/local/tottori/news/20150821-OYTNT50207.html>

> 鳥取養護学校（鳥取市）の看護師6人中5人が一斉に辞職し、医療的ケアが必要な児童・生徒が通学できなくなった問題で、県教委は21日、看護師に過重な負担がかかっていたなどとする調査結果を公表した。学校側に保護者の要望に対応する仕組みがなかったことが主な原因とし、改善策案も示された。

教職員や元看護師らに聞き取り調査を実施して検討し、県議会総務教育委員会で報告した。

医療的ケアは本来、主治医の意見書をもとに学校医が決め、変更も同様に検討する。

しかし、調査結果によると、同校には、保護者の要望を検討する仕組みがなく、看護師らが直接聞き、ほぼすべて受け入れる状態になっていた。看護師の負担増加に伴い、要望通りのケアが実施されない事態も発生。保護者からの苦情も看護師が受けたという。

看護師の待遇を巡っては、有給休暇が取れず、無報酬での時間外勤務があったことも判明。県教委は、改善策として▽保護者からの相談・要望窓口を教頭と学部主事に明確化▽看護師の増員——などを挙げた。

一方、夏休みが明ける26日以降も、看護師が不足する見通しであることを報告。県立中央病院などから3人の応援を受けても5、6人体制となる見通しで、ケアに保護者の協力が必要という。県教委は「問題点の改善を図り、看護師確保を進めたい」としている。

…などと伝えています。

☆ケアの要望、書面对応 養護学校問題

朝日新聞 2015年8月22日

<http://digital.asahi.com/articles/ASH8P53HCH8PPUUB00C.html>

> 県立鳥取養護学校（鳥取市）で非常勤の看護師が一斉に辞職を申し出て、医療的ケアが必要な児童・生徒の一部が登校できなくなった問題で、県教育委員会は21日、保護者からの要望は書面で受け付けるなどの「改善案」を示した。同日の県議会総務教育常任委員会で報告された。

県教委は6、7月に看護師と教職員の聞き取り調査を実施。その結果、保護者からのケア内容の変更などの要望について学校側で検討する仕組みがないため、全てを受け入れる形になり、看護師の負担増につながっていたことなどが問題点として挙げられた。

改善案は保護者からの要望を受け付ける様式を定め、看護師や学校医の意見を反映して文書で受け入れ可否を回答することなどの対応要領を作成することが盛り込まれた。

看護師も1日5人体制から6人体制にするとしたが、学校が確保した非常勤看護師は9月1日時点で3人。当面は県立中央病院などから応援を受ける。またケアの集中する昼休みは、一部の児童・生徒について、それぞれの保護者にケアをしてもらうことになるという。

…などと伝えています。

△△8月21日 鳥取県議会総務教育常任委員会

<http://www.pref.tottori.lg.jp/246153.htm>

> 【教育委員会】

○報告事項（PDF：1479KB）

<http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/966823/0821kiyouiku.pdf>

> ・H27年度第1回鳥取県特別支援学校における医療的ケア運営協議会の概要について…P8

・鳥取養護学校における医療的ケア等の体制整備について…P10

…などの掲載があります。